

ゴミのダイエットに「協力」を



成田富里いずみ清掃工場の稼働開始から10月で3年。清掃工場で処理するゴミの量が毎年増え続けています。それらの中には、資源化できるものがまだ多く含まれています。分別の徹底と3R(スリーアール)で、ゴミの減量化に市民の皆さんのご協力をお願いします。

成田富里いずみ清掃工場に集まる大量のゴミ

増え続けるゴミ量

成田富里いずみ清掃工場は、将来にわたって、安全安心に本市と富里市のゴミを処理することを目的に建設され、平成24年10月に稼働を開始しました。

市では、清掃工場の稼働に合わせて、ゴミの分別区分を見直すとともに一般廃棄物処理基本計画の見直しを行いました。ところが、ゴミの排出量は計画で推計した量を超えて増え続けています(グラフ①)。

**1人100グラムで
1日13トン減量**

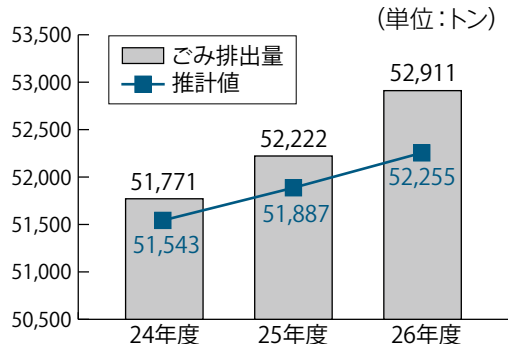
わたしたち成田市民が1日に出しているゴミの量は、1人約1、087グラムで千葉県平均や全国平均よりも多くなっています(平成24年度・グラフ②)。

平成26年度の市全体のゴミ排出量は5万2、911トンで、1日当たりでは、約145トンにもな

ります。もし、1人が1日100グラムのごみを減量すると、市全体で1日約13トンのごみが減り、1年間では4、745トンのごみを減らせることとなります。

また、市で収集している可燃ごみの組成分析調査では、約80パーセントが紙類、衣類・布類、ビニール類で占められています(グラフ③)。これらの中には資源として利用できるものがまだまだ含まれています。

グラフ① ゴミ排出量と推計値



例えば、全国的な調査では紙ごみのうち15〜20パーセントもの資源化可能な紙が含まれているといわれています。

これらのごみをしっかりと分別して資源にできれば、その分の処理費用が掛からないうえ、CO2の削減や清掃工場の延命化にもつながります。

資源循環型社会を目指して

将来にわたって、豊かな自然環境を維持し、大切な地球を守っていくことは、わたしたちに課せられた使命です。

そのためには、ごみの減量化・再資源化を進め、持続可能な資源循環型社会の構築に努めなければなりません。

豊かな環境を残すために、ごみの排出を止めることはできなくても、その量を減らすことはできるはずです。

ごみの減量に市民の皆さんのご協力をお願いします。

3Rから始めるごみの減量

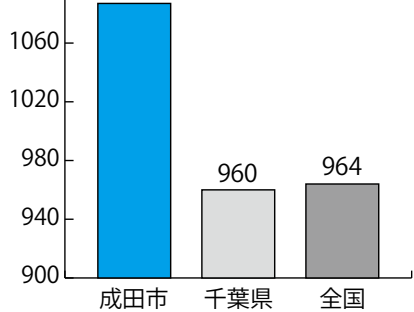
持続可能な資源循環型社会を目指す3つの取り組み、発生抑制（リデュース・Reduce）・再利用（リユース・Reuse）・再生利用（リサイクル・Recycle）の

頭文字をとったのが3Rです。

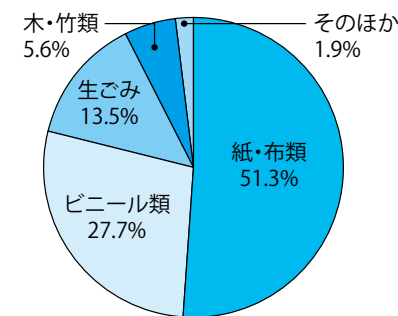
リデュースはごみの発生自体を抑制すること。ごみを減らすためには、必要なものを必要な分だけ買う、使い捨て商品はできるだけ使わないなど生活スタイル全般を見直す必要があります

リユースは一度使用された製品や容器などを洗ったり直したりして再び使用すること。リターナブルビンを使ったり、着られない

グラフ② 1人が1日に出すごみ量の比較 (単位:グラム)



グラフ③ 可燃ごみの内訳 (平成27年4月分)



100グラムのごみ減量に挑戦しよう

「100グラムも減らせないよ…」と思うかもしれませんが、ちょっとした心遣いがあれば、そんなに難しいことはありません。

マイバッグを持参し、レジ袋を断ろう
レジ袋1枚 4〜10グラム

生ごみをギュッとひとしぼり
水切り1回 10〜30グラム

使い捨て製品(割りばし、スプーンなど)の利用を控えよう
割りばし1膳 5〜10グラム

簡易包装を心掛けよう
紙包装1枚 20〜40グラム

詰め替え用の商品を選ぼう(シャンプー、台所洗剤、調味料など)
シャンプー容器 70〜80グラム

「残さずきれいに食べて気持ち良い食事」
食材の買い過ぎや作り過ぎをしないよう心掛けよう
ごはん1膳 150〜200グラム

マイはし、マイ水筒持参でペットボトルや缶を減らそう
ペットボトル 500ミリリットル1本 40グラム
スチール缶 190ミリリットル1本 34グラム

*数字はあくまでも目安です。それぞれの大きさや素材によって重さは変わります

なくなった服や木用になった家具を必要とする人に使ってもらったりするなど、大事に長く使うことも大切です

リサイクルはいらなくなったものを処分するのではなく、原料や燃料として再び利用すること。決められたルールに従って正しく分別することが大切です

リサイクルの例
○生ごみの堆肥化：市では生ごみを減量する器具(コンポスト)を減量する器具(コンポスト)を器、生ごみ処理容器、機械式生ごみ処理機)を購入する世帯に補助金を交付しています
○地域のリサイクル運動への協力 ※くわしくはグリーン推進課(☎20・1530)へ。

紙類を分別しよう

古紙は5種類

①新聞紙



●新聞紙

新聞折込の広告は新聞紙と一緒にOK

②雑誌



- 週刊誌
- 文庫本
- パンフレット
- 教科書
- ノート

③ダンボール



粘着テープや宅配伝票をはがしてください

④紙パック

- 牛乳・ジュースの紙パック



ただし、内側がアルミコーティングのものは可燃ごみへ

⑤雑がみ



「雑がみ」はこのようものです

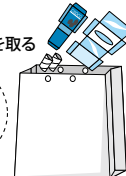
- 投げ込みチラシ ●はがき ●封筒
- ティッシュの箱 ●お菓子の箱
- トイレトペーパーの芯 ●コピー紙
- 紙袋 ●包装紙 ●カレンダー
- 紙製ファイル ●メモ用紙 ●洋服タグ

小さな雑がみは、紙袋に入れ、十文字に縛って出してください。
紙袋の持ち手部分は紙以外の場合は、持ち手の部分を取り除いてください。



十文字に縛る

持ち手の部分を取る



注意

この紙は混ぜないで(可燃ごみで出してください)

- 水に溶けない紙(紙コップ、ビニールコーティングされているもの)

- カーボン・ノーカーボンやアイロンプリントの紙
- 臭いの付いた紙
- 食品や油で汚れた紙(ケーキ、ドーナツ、ピザの箱)

衣類・布類を分別しよう

衣類・布類には次のようなものがあります

- スーツ、ジャンパー、セーター、和服
- ワンピース、ワイシャツ、ブラウス、Tシャツ
- ズボン、スカート ●マフラー、スカーフ
- ハンカチ、タオル ●毛布、シーツなど

*洗濯して乾燥してあるものに限り。革ベルト、ビニールベルト、パジャナなどは外してください

衣類・布類として収集しないもの(可燃ごみで出してください)

- 綿やクッション材が入っているもの(布団、座布団、ぬいぐるみなど)
- 羽毛が入っているもの(羽毛布団、ダウンジャケットなど)
- 吸水性のないもの(フリース、ストッキング、タイツ、レース地の布など)
- 厚手の生地(じゅうたん、マット、カーペット、遮光カーテンなど)

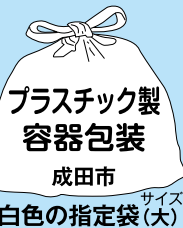
雨にぬれないように透明なビニール袋に入れてください

ペットボトル・プラスチック製容器包装を分別しよう



プラスチック製
容器包装
(プラマークのあるもの)

- 商品の外装
- 卵や果物などのパック
- レジ袋
- ゼリー、ビタミン剤などの容器
- プラスチック製のキャップ
- 発泡スチロール製の箱、緩衝材など



可燃ごみで出してください

- プラマークが付いていないもの
- 粘度の高い調味料や油が入っていたもの
- 臭いや中身が付着して残っているもの



ペットボトル

PET

- 飲料水用(ジュース、お茶などの容器)
- 酒類用(焼酎などの容器)
- 調味料用(しょうゆ、みりん、つゆなど粘度の低い調味料が入っていた容器)

*さっとすすいで汚れが落ちないものは、可燃ごみで出してください

